

令-03 男女共同参画推進専門委員会議事メモ

日時 令和元年9月30日(月) 9:00~9:30
場所 事務局棟2階会議室
出席者 尾西理事(委員長)、朴、森川、江藤、森、小林、宇野、常、林原、園邊各委員
欠席者 宮田、小川各委員
陪席者 井澤人事労務課長、世古人事労務チーム副課長、島田人事労務チーム副課長、
中島副室長、中村室員

○協議事項

1. 令和2年度教養教育授業計画について

委員長から、資料1により令和2年度教養教育授業計画については、今年度と同様に前期「男女共同参画基礎」を開講することについて提案があり、審議の結果、承認された。また、委員長から、今年度末でご退職となる人文学部、朴委員と工学部、小林委員には後任の委員を推薦いただきたい旨の依頼と朴先生には引き続き1コマ担当していただくことでした。得ている旨説明がなされた。なお、担当委員でテーマの変更及び日程の変更等がある場合は、速やかに男女共同参画推進室に連絡することとした。

2. 育児等との両立のための研究補助者雇用経費助成について

委員長から、資料2により今年度後期における育児等との両立のための研究補助者雇用経費助成事業の申請状況について説明があり、申請者数及び助成額共に当初の計画内であることから申請者全員を採択したい旨提案があり、審議の結果、承認された。委員から、採択者の新規・継続の内訳はどうかとの照会があり、委員長から、全て継続である旨の回答と各部局における本制度のさらなる周知について依頼がなされた。

3. 「三重大学男女共同参画推進専門委員会報告書2019」について

委員長から、資料3により当委員会報告書2019の事項案について、今年度は新しい取り組みであるトモシヨク宣言とワークショップのことを掲載予定であること及び昨年度から報告書については、ペーパーレス推進及び経費削減のため紙媒体ではなくデジタル化していることの説明があり、審議の結果、承認された。なお、その他掲載記事があれば男女共同参画推進室に連絡することとした。

4. その他

なし

○報告事項

1. オープンキャンパスの実施について

小林委員から、8月10日開催の工学部オープンキャンパスにおいて、理系の女子学生を増

やすための方策として、女子学生による進路相談等を行ったことについて報告があり、2016年度から実施しているが参加者数が年々減っている理由としては、少子高齢化による受験倍率の低下も一つの要因であると考えられるとの発言があった。続いて常委員から、8月9日開催の生物資源学部オープンキャンパスにおいて、女子学生が大学で何をやっているかイメージがしづらいとの声に対して、4学科の女子学生と大学院生3名を加えてポスター発表による研究紹介を行ったことについて報告があり、当日は、約120名の方に説明を行い、今後も継続して実施していきたいとの発言があった。最後に朴委員から、これまで人文学部はオープンキャンパスで男女共同参画に関するイベントは特段行っていなかったが、今年度の人文学部の取り組みとして行った国際交流委員会の報告の中で、日中韓の学生における男女共同参画に関する意識調査の結果を見せるなど、男女共同参画部分の取り組みを取り入れるというトライアルイベントを実施したとの報告があった。

2. 「トモシヨク宣言」及び「トモシヨクワークショップ」の実施について

委員長から、資料4により報告があり、9月18日に実施した今年度の新しい取り組みについて、参加者が皆で作り共に食べるという楽しい企画で非常に良かったとの感想が述べられた。現在、アンケートを取っているので、継続実施を望むという声が大勢を占めれば、来年もいろんな形で堅苦しくない取り組みができればと思っている旨の発言があった。

3. 2019年度男女共同参画推進フォーラムについて

朴委員から、8月29日から国立女性教育会館で開催された男女共同参画推進フォーラム2019に、男女共同参画推進学生委員会の学生3名と参加し、大学の取り組み、学生の意識調査、学生委員会の活動等についてパネル展示及び参加者との交流を行ったとの報告があった。

4. 男女共同参画推進に係る講演会の実施について

委員長から、今回のトモシヨク宣言でお招きしたNPO法人ファザーリングジャパンのプロジェクトリーダーである滝村氏による、教職員を対象とした働き方改革に関する講演会を11月5日(火)16:20からイノベホールで実施することの報告があり、具体的なテーマ等について改めてポスター等でお知らせするので、委員の参加と教授会及び学生への周知について依頼があった。

以 上